

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	介護人材確保対策事業										事業コード	030103420217			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	3 介護サービスの基盤整備					
	施策名	1 介護サービスの持続可能性を支える人材の確保								施策コード	631				
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課							所属長	小野木 正章					
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計		決算附属資料	120・121	頁
計画期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	事業概要に記載														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 介護人材の不足、定着が難しいこと、また、3K(きつい、汚い、危険)のイメージを持っている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護人材の不足に対し、現状を把握して確保・育成・定着を図る。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 各種補助金の交付、一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会との連携、学生へのPRを通じ、介護人材の確保・育成・定着を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 1 各種補助金の交付 (1)介護職員初任者研修受講支援(初任者研修受講料補助金)(福知山市介護職員初任者研修受講料補助事業実施要綱)(2)実務者研修実施補助金・介護職員実務者研修実施に係る支援(負担金)・介護福祉士実務者研修受講料補助金(福知山市介護福祉士実務者研修受講料補助金交付要綱)(3)介護福祉士育成修学資金貸付(福知山市介護福祉士育成修学資金の貸与に関する条例、福知山市介護福祉士育成修学資金の貸与に関する条例施行規則)(4)介護人材定着支援金(福知山市介護人材定着支援金交付事業実施要綱)(5)介護支援専門員等研修受講補助(福知山市介護支援専門員等研修受講料補助金交付要綱)(6)外国人介護人材定着支援金(福知山市外国人介護人材定着支援金交付事業実施要綱)										
対象者	市内介護職員等					対象者数	150		単位あたりコスト	185.2	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (										

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	17,581		19,513		40,696		0						
	② 補正予算	0		7,310		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		17,581		26,823		40,696		0						
予算財源内訳	① 一般財源	209		388		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	17,372		26,435		40,696		0						
決算情報	① 流充用額	△ 189		△ 37										
	② 配当予算	17,392		26,786										
	③ 執行額	16,352		24,657										
	④ 執行率	94.0%		92.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.42	/	0.00	0.39	/	0.00			/				
	② 概算人件費	3,360		3,120										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,712		27,777										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	介護人材確保対策事業基金繰入(地域福祉基金)		種類	基金繰入金		実績金額	17,779		決算附属資料	35		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人		97	165	240			
		目標値			105	105	105	230	230	
	制度利用者数	達成度		%	92%	157%	229%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	校		82	82	82			
	大学・専門学校等訪問、PR書類送付	当初見込			45	45	45	45	45	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容① (アクティビティ)		介護職として勤務している介護職員への定着、育成を図ること、また学生の介護人材の確保を行うために、市内の補助金の制度説明を送付する。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	・研修助成事業では、職員のキャリアアップにおいて有効な手段となっている。 ・市内介護人材の掘り起こし策が無かったため、令和4年度より、市外・市内の介護人材を対象とした介護職員定着支援金制度を新設し、Uターン家賃助成制度は令和5年度で終了した。法人の求人に役立っており、介護人材確保への一助になっている。 ・高齢化が進み、ますます介護が必要な方の増加が見込まれる中、不足する介護職員の確保は喫緊の重要課題であり、介護人材不足の現状を踏まえ、人材確保・定着を図るため、これまで実施している各種助成制度に加え、R5年度には介護支援専門員等研修受講補助を新設、R6年度には外国人介護人材定着支援金を新設し、介護事業所等の人員体制確保支援を強化した。 ・各種助成制度が介護人材確保にいかにつながっているのかの検証が必要である。								
現状の課題 に対する 改善策	介護人材確保の補助金の効果について、利用者アンケートや事業所への聞き取りを行い効果検証を行う。								

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	社会福祉法人等施設整備補助事業							事業コード	030103420270			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち						政策目標	3 介護サービスの基盤整備			
	施策名	1 介護サービスの持続可能性を支える人材の確保							施策コード	631		
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課						所属長	小野木 正章			
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計	決算附属資料		頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第9次・第10次福知山市高齢者保健福祉計画			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	京都府地域密着型サービス等整備等助成事業補助金交付要綱、福知山市地域密着型サービス等整備等助成事業補助金交付要綱											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他（ ）											
関連事業	-											

[illegible]

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	39,473		0		0		0				
	② 補正予算	△ 23,223		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		16,250		0		0		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	16,250		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	16,250		0								
	③ 執行額	11,723		0								
	④ 執行率	72.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.05	/ 0.00	0.00	/ 0.00	/	/					
	② 概算人件費	400		0								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,123		0								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	京都府地域密着型サービス等整備助成事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	2,600		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	施設数	5	2	2			
	整備施設数	目標値		5	2	2	7	3	
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	法人等	2	2	1			
	申請数	当初見込		2	2	1	3	3	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
事業所を対象に施設整備照会を実施する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	施設整備を必要とする事業所(法人)にとり、補助対象となるメニューが豊富であり、府補助金(国基金)を活用した必要性の高い事業である。								
現状の課題 に対する 改善策	前年度に事業所へ施設整備照会(前年度)を実施するとともに、施設整備を希望する法人が着実に事業実施できるよう、事業所・府と連携しながら手続き等に関する助言を行っていく。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	高齢・障害福祉施設等物価高騰対策支援事業(高齢者福祉課)										事業コード	030103420281				
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち						政策目標	3 介護サービスの基盤整備							
	施策名	1 介護サービスの持続可能性を支える人材の確保								施策コード	631					
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課						所属長	小野木 正章							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	03 老人福祉費		会計	01 一般会計		決算附属資料	122		頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	廃止/休止			
根拠法令等	福知山市高齢者福祉施設物価高騰対策支援金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 エネルギー価格や食料品価格等の物価高騰により、介護サービス事業所・施設等においては、コスト増を価格転嫁することができず、経営を圧迫されている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護サービス事業所・高齢者施設等における食材費の高騰は、介護事業者が安心して質の高いサービスを継続していくにあたり、事業所運営・サービス品質・高齢者の健康に直結する深刻な課題である。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 物価高騰の影響を受けている介護事業者等の経済的負担を軽減し、利用者への必要なサービスが安定的に提供される体制を維持するため、介護施設等で提供される食事に係る食材費の一部の支援を行うことにより、サービスの安定的な提供を図ることを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 物価高騰の影響を受けながらも、食材費等の高騰分を介護サービス利用者の負担に反映させることなく事業継続を行っている法人に対し、介護施設等で提供される食事に係る食材費の一部の支援を行う。									
対象者	市内で介護保険事業所等を有する法人					対象者数	27		単位あたりコスト	882.5
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0						
	② 補正予算	25,170		28,290		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		25,170		28,290		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	25,170		28,290		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	25,170		28,290										
	③ 執行額	23,147		23,427										
	④ 執行率	92.0%		82.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.05	/	0.00	/						
	② 概算人件費	160		400										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,307		23,827										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	高齢・障害福祉施設等物価高騰対策支援事業(地方創生臨時交付金)			種類	民生費国庫補助金		23,426		実績金額	決算附属資料	16		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	法人	22	21	20		
	給付金を活用した事業者数(法人) (サービス利用者への負担を増やすことなく食事提供を継続するため)		目標値		32	32	27	0	0
			達成度	%	69%	66%	74%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		法人		22	21	20		
	申請事業者数(法人)				32	32	27	0	0
				当初見込					
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	物価高騰の影響を受けている市内の介護事業所・高齢者施設等に対し、支援金の支給申請案内を実施する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績						
			目標値						
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。								
				当初見込					
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を中心に記述すること 食材費の高騰が続いている中での支援金交付であり、財政支援を行うことで、物価高騰対策としては有効である。 介護サービス事業所・高齢者施設等における食材費の高騰は、介護事業者が安心して質の高いサービスを継続していくにあたり、事業所運営・サービス品質・高齢者の健康に直結する深刻な課題である。								
現状の課題 に対する 改善策	介護サービス事業所・高齢者施設等への食材費支援については、これまで国の交付金を活用しており、今後の国の動向を注視していく。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	介護支援専門員研修事業							事業コード	030201420556			
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち					政策目標	3 介護サービスの基盤整備				
	施策名	1 介護サービスの持続可能性を支える人材の確保						施策コード	631			
事業担当	所属	150300 健康福祉部高齢者福祉課					所属長	小野木 正章				
会計情報	款	03地域支援事業費	項	02包括支援・任意事業費	目	01包括・継続ケア事業費		会計	15 介護保険	決算附属資料	271	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次福知山市高齢者保健福祉計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市内の介護支援専門員に対して令和6年度は3回の研修を実施。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 介護支援専門員のニーズに合わせたテーマの研修が実施できるように、希望を把握する必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市内の介護保険事業所に勤務する介護支援専門員に対し研修を実施することで、地域包括ケアの理解促進、自立支援に資する知識、技術を習得することによりケアマネジメントの資質の向上を図るとともに、適正な介護保険事業の運営につなげる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 市内の介護支援専門員に対して令和6年度は3回の研修を実施。 ①「令和6年度 介護報酬改定について」(R6.7.26実施:WEB形式) 参加者34名 ②「令和6年度福知山市福祉専門職防災力向上研修」(R6.10.16実施:集合形式) 参加者42名 ③「ケアプラン(給付適正化)」について」(R6.11.19実施:WEB形式) 参加者46名					
対象者	市内の介護保険事業所に勤務する介護支援専門員		対象者数	160	単位あたりコスト	7.9
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	100		100		100		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		100		100		100		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	39		39		39		0				
	③ 府支出金	19		19		19		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	42		0		42		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	100		100								
	③ 執行額	40		60								
	④ 執行率	40.0%		60.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.20	/	0.00	0.15	/	0.00	/				
	② 概算人件費	1,600		1,200								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,640		1,260								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	現年度分		種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)		実績金額	23	決算附属資料	264	頁
			現年度分			地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)			12		265	
			介護給付費繰入金			介護給付費繰入金			12		265	
			現年度分			第1号被保険者介護保険料			13		263	
					7							

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	点		4.3	4.6	4.4			
	参加者アンケート評価(5段階)	目標値			4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
			達成度	%	96%	102%	98%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	人	112	129	122				
	参加者数		当初見込		150	150	150	150	150		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	介護支援専門員のニーズに合わせたテーマの研修が実施できるように、アンケートを実施してニーズを把握する。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	点	4.3	4.6	4.4				
	参加者アンケート評価(5段階)	目標値	4.5		4.5	4.5	4.5	4.5			
			達成度	%	96%	102%	98%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	3	3	3				
	開催回数		当初見込		3	3	3	3	3		
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	開催形態を研修の内容により、集合形式・WEB形式の開催方法により実施する。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	令和6年度はWEB形式での研修が多く、参加者より移動がなく参加しやすいと評価を得ているが、その反面、参加者同士の意見交換が少なく、講師側から受講者の理解度がわかりにくいため、工夫が必要と考えられる。								
現状の課題 に対する 改善策	年度3回実施のうち、研修内容により研修形態を検討して、実施していくなかで、WEB形式での研修を行う際はこまめな確認テストやグループワークの導入時間を長くする、アーカイブ配信を行う、ハイブリット型(対面+Web)を実施する等、研修内容をよく練り込み、受講者同士や講師とのコミュニケーションを取り合い、より実りのある研修へつなげる。								

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	介護職員基礎研修事業										事業コード	030201420568	
政策体系	基本政策	6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち							政策目標	3 介護サービスの基盤整備			
	施策名	1 介護サービスの持続可能性を支える人材の確保								施策コード	631		
事業担当	所属	150700 健康福祉部地域包括ケア推進課							所属長	中田 浩二			
会計情報	款	03 地域支援事業費	項	02 包括支援・任意事業費	目	01 包括・継続ケア事業費			会計	15 介護保険	決算附属資料	272	頁
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第10次高齢者保健福祉計画					R7現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
関連事業	-												

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・介護技術も年々進歩し、安静介護中心から自立支援型の介護へと変化しているが、自立支援のための「生活リハビリ」については、未だ意味や現場での展開方法について周知しているとは言えず、安静介護が主流になっている。 ・介護サービスの需要増加が見込まれる中、介護人材の確保・育成・定着が必要だが、一事業所の努力だけでは困難な状況にある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・介護人材が不足しているなか、介護する側もされる側も負担が少ない介護方法を修得することで、施設虐待の予防にもつながると考えられるが、自立支援のための解剖学に基づいた「生活リハビリ」の視点で介護技術を学ぶ機会が少ない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市内介護保険事業所に勤務する職員に対して、施設虐待の予防となるよう現場ですぐに使える介護技術・知識の習得や、個別ケアの実践を学んでもらう。また、施設間交流を通じて情報交換を行なうなど、高齢者の自立支援に向けた仕組みづくりを間接的に支援する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・市内介護保険事業所に勤務する職員を対象に、年度内2回の研修会を実施する。 第1回 自立に向けた機能訓練、レクリエーション編 第2回 入浴・食事・排泄の基本、介護実技、認知症編

委託先・実施主体等	
-----------	--

主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績 (R6)	主な業務内容	費目	実績 (R6)	主な業務内容
	報償費	100	講師に対する報償費			
	旅費	5	講師の旅費			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	105	105	105	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	105	105	105	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	40	40	40	0
	③ 府支出金	20	20	20	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	45	45	45	0
	決算情報	① 流充用額	0	0	
② 配当予算		105	105		
③ 執行額		105	105		
④ 執行率		100.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	800	800		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		905	905		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	現年度分	種類	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)	実績金額	40	決算附属資料	264	頁
		現年度分		地域支援事業交付金(介護予防・日常生活以外の地域支援事業)		20		265	
		介護給付費繰入金		介護給付費繰入金		20		265	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	点	4.5	4.5	4.7			
			目標値		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
	満足度(アンケート:5段階)		達成度	%	100%	100%	104%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	2	2	2			
	研修会の開催回数									
					当初見込	2	2	2	2	2
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	研修会の実施									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
				当初見込						
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	研修会の参加者アンケートで5段階評価のうち平均4.7点を獲得し、参加者には現場で実践できる介護技術の講座として満足度が高い。介護職員が不足している現状で、高齢者の自立を引き出す介護技術は、介護職員の介護負担の軽減や介護ストレスの軽減、ひいてはストレスからの虐待の発生を二次的に抑える効果も期待している。介護人材不足により、研修会に参加しにくいとの声もある。しかし、職場での研修の機会が少ない、上司から介護技術を伝達してもらえない時間がない等の声もあり、2日間の研修ではあるが、「生活リハビリ」の視点で解剖学に基づいた介護技術を学ぶ機会が必要であると考えます。	
現状の課題に対する改善策	参加者アンケートで参加者が希望する内容を次の研修に取り入れる等、現場で活かせる内容を盛り込むことで参加者の更なる拡大を図るとともに、職場で伝達しやすいように研修の内容や資料を講師と検討する。しかしながら、施策体系の介護人材の確保を目的とするならば保険者が担うものであると考えため、地域包括支援センターが本事業を行う意義を検討する必要がある。令和7年度では、保険者と共に事業の継続、廃止を含め検討を行っていきたい。	